

## 企業版ふるさと納税の効果検証について

## 1 制度の概要

目 的	地方創生の更なる充実・強化に向けて、民間資金を活用して地方公共団体の地方創生への取組を後押しすること
概 要	地方公共団体が実施する地方版総合戦略に位置付けられた事業（まち・ひと・しごと創生寄附活用事業）に対して民間企業等が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる制度
対 象 事 業	地方版総合戦略に位置付けられた事業で、実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））の設定、評価方法（PDCA サイクル）の整備により効率的かつ効果的に実施される新規又は拡充事業
税制措置 の 内 容	<div><div><div><div><div>← 軽減効果最大約9割 →</div><div>損金算入による軽減効果 国税+地方税</div><div>約3割</div></div><div>①法人住民税+②法人税</div><div>4割</div><div>③法人事業税</div><div>2割</div><div>企業負担</div><div>約1割</div></div><div><div>← 通常の寄附 →</div><div>← 企業版ふるさと納税を活用した寄附 →</div></div><div><div>① 法人住民税</div><div>寄附額の4割を税額控除(法人住民税割額の20%が上限)</div><div>② 法人税</div><div>法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。 ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)</div><div>③ 法人事業税</div><div>寄附額の2割を税額控除(法人事業税額の20%が上限)</div></div></div></div>
実施期間	2020 年度から 2024 年度まで（令和 7 年度税制改正において、2027 年度まで延長）
注 意 事 項	<div><div>・ 本社が所在する地方自治体への寄附については対象外</div><div>・ 1 企業における寄附は 10 万円から</div><div>・ 寄附を行うことの代償として経済的な利益供与は禁止</div></div>

## 2 寄附の状況

2024 年度（令和 6 年度）実績：760 万円

### 【寄附を受けた事業】

	事業名	金額	寄付者
1	公立保育所図書充実事業	50 万円	トーカロ株式会社 (兵庫県神戸市)
2	道路維持補修事業（交通安全対策）	10 万円	株式会社 I D O M (東京都千代田区)
3	財政白書策定事業	10 万円	企業名非公表
		10 万円	富士建設工業株式会社 (新潟県新潟市)
		100 万円	日本管財株式会社 (東京都中央区)
		80 万円	株式会社サカイ引越センター (大阪府堺市)
4	本のまち明石図書充実事業	500 万円	企業名非公表

## 3 寄附を受けた事業（2024 年度（令和 6 年度））の状況

### （1）2023 年度（令和 5 年度）開始事業

事業名	電気自動車購入事業		
寄付金額	2023 年度：1,000 万円		
寄附者	株式会社ダイセキ（愛知県名古屋市）		
主管課	福祉局あかし保健所保健総務課		
総合戦略 5つの柱	柱1 豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める		
事業目的	公用車として電気自動車を導入することで、温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の削減を図り、脱炭素社会の実現を目指す。		
事業内容 (2024 年度)	・電気自動車導入にかかる充電設備を設置した。 ・温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の削減を図るため、公用車として電気自動車を4台導入した。		
事業費 (千円)			
		1 年目 (2023)	2 年目 (2024)
	予定額	93	14,214
	実績額	57	13,722
	寄附金充当額	57	9,943
＜2024 年度事業費内訳＞			
・充電設備及び電気自動車の購入（備品購入費） 13,722 千円			

重要業績 評価指標 (KPI)	①市の事務及び事業からの温室効果ガス排出量（2013 年度比）			
実績値		2023 年度	2024 年度	目標値（2030）
	K P I ①	32,680	35,485	20,850
事業効果	<p>【事業を実施した効果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境にやさしい電気自動車を導入することで、温室効果ガスの排出量の削減と自然環境の保護に寄与した。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー消費量の少ない電気自動車を活用し、脱炭素社会の実現に向けて取組を進めていく。</li> <li>・電気自動車導入による効果を把握し検証していく。</li> <li>・蓄電池として使用できる電気自動車の特性を生かした防災・BCP 対策としての活用など電気自動車の効果的な利用を進めていく。</li> </ul>			
外部有識者 (あかしSDG s 推進審議会委 員) の評価	<p>(1) 評価（該当する番号に○）</p> <p>① 本事業は、地方創生のために有効であった。</p> <p>② 本事業は、地方創生のために有効でなかった。</p> <p>(2) 意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保有台数が多く使用頻度の高い公用車への電気自動車の導入は、行政活動におけるエネルギー消費量の削減に大きくつながるものと考えられる。また、市民の意識啓発にも大きな役割を果たすものと考えられる。</li> <li>・電気自動車の導入後は、適切な維持管理と、効果的な利用を通して、さらなるエネルギー量の削減と「ゼロ・カーボンあかし」に向けた取組を進められたい。</li> </ul>			

(2) 2024 年度（令和 6 年度）開始事業

事業名	公立保育所図書充実事業								
寄付金額	2024 年度：50 万円								
寄附者	トーカロ株式会社（兵庫県神戸市）								
主管課	こども局こども育成室運営担当								
総合戦略 5つの柱	柱3 こどもの育ちをまちのみんなで支える								
事業目的	こどもの健全な育成を支援するため、明石市内の公立保育所・幼保連携型認定こども園に絵本等を購入・設置し、日常的に絵本に親しむ環境の充実を図る。								
事業内容 (2024 年度)	・市内公立保育所・幼保連携型認定こども園 11 園に合計 351 冊の絵本を購入した。								
事業費 (千円)	<table> <tr> <td></td><td>2024 年度</td></tr> <tr> <td>予定額</td><td>500</td></tr> <tr> <td>実績額</td><td>513</td></tr> <tr> <td>寄附金充当額</td><td>500</td></tr> </table>		2024 年度	予定額	500	実績額	513	寄附金充当額	500
	2024 年度								
予定額	500								
実績額	513								
寄附金充当額	500								
重要業績 評価指標 (KPI)	①図書館等での本の貸出冊数【冊】（2023 年度：2,747,078 冊）								

実績値		2024 年度	目標値 (2024)	結果
	K P I ①	2, 635, 813	3, 200, 000	未達成
事業効果	<p>【事業を実施した効果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いつでも」「どこでも」「だれでも」手を伸ばせば本に届く「本のまち明石」の取り組みの一環として絵本に親しむ環境を整備し、市内公立保育所・幼保連携型認定こども園における図書の環境整備を行うことができた。</li> <li>・図書の充実を図ることで、こども達に読書の習慣を根付かせ、豊かな感性を育むことにつながる、保育環境の整備を行うことができた。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、絵本の更新・充実を図り、すべてのこども達が絵本に親しむ環境づくりを推進する。</li> </ul>			
外部有識者 (あかしSDGs推進審議会委員) の評価	<p>(1) 評価 (該当する番号に○)</p> <p>① 本事業は、地方創生のために有効であった。</p> <p>② 本事業は、地方創生のために有効でなかった。</p> <p>(2) 意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会全般でデジタル化が進む中、直接、文字や絵と接する機会を増やすことによって、自然に恵まれた明石の特徴を理解できる感性の育成に役立った。</li> <li>・企業版ふるさと納税の寄付を活用して公立保育所図書充実事業が実施され、幼い頃から本に親しむ環境の整備に貢献した。K P I 目標値には達していないので、さらなる取り組みの充実が望まれる。</li> </ul>			

事業名	道路維持補修事業（交通安全対策）			
寄付金額	2024 年度：10 万円			
寄附者	株式会社 I D O M（東京都千代田区）			
主管課	都市局道路安全室道路整備課			
総合戦略 5つの柱	柱4 安全・安心を支える生活基盤を強化する			
事業目的	道路環境を良好に保ち、市民が安全に通行できるよう、適切に維持管理を図る。			
事業内容 (2024 年度)	・日常における市民の安全・安心の確保を念頭に、自転車との接触事故から歩行者を守るための「啓発看板」を歩道に設置した。（明石市道朝霧 242 号線で 2 箇所）			
事業費 (千円)		2024 年度		
	予定額	258		
	実績額	258		
	寄附金充当額	100		
重要業績 評価指標 (KPI)	①交通事故死傷者数【人】（2023 年度：1, 142 人）			
実績値		2024 年度	目標値（2025）	結果
	K P I ①	1, 133	800	目標達成に向け順調に推移

事業効果	<p>【事業を実施した効果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車と歩行者の接触事故を減らすことを目的とした啓発看板を設置したことで、市民の安全・安心の生活環境を整備することができた。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の日常の安全・安心の更なる確保に取り組んでいく。</li> </ul>
外部有識者 (あかしSDGs推進審議会委員) の評価	<p>(1) 評価 (該当する番号に○)</p> <p>① 本事業は、地方創生のために有効であった。</p> <p>② 本事業は、地方創生のために有効でなかった。</p> <p>(2) 意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通弱者を守るための、また、市民の意識啓発にもつながる取組である。</li> <li>・安全・安心なまちづくりをしていく上で、特に障がい者や高齢者に対する自転車対策が急務となる中、きめ細かい対策が実施された。</li> <li>・市民が安心して暮らせるよう、日常の安全・安心を守る取組を引き続き進めていただきたい。</li> </ul>

事業名	財政白書策定事業										
寄付金額	2024 年度：200 万円										
寄附者	・ 非公表 ・ 富士建設工業株式会社（新潟県新潟市） ・ 日本管財株式会社（東京都中央区） ・ 株式会社サカイ引越センター（大阪府堺市）										
主管課	総務局財務室財務担当										
総合戦略 5つの柱	柱4 安全・安心を支える生活基盤を強化する										
事業目的	市の財政情報を市民と共有し、持続可能な財政運営や今後のまちづくりに活かす										
事業内容 (2024 年度)	・ 市の財政状況や財政運営上の課題を見える化し、今後の財政見通しや財政運営上の目標、取組方針などを市民と共有するため、「みんなの財政白書あかし」を策定した。										
事業費 (千円)	<table><tr><td></td><td>2024 年度</td></tr><tr><td>予定額</td><td>2,760</td></tr><tr><td>実績額</td><td>2,000</td></tr><tr><td>寄附金充当額</td><td>2,000</td></tr></table>				2024 年度	予定額	2,760	実績額	2,000	寄附金充当額	2,000
	2024 年度										
予定額	2,760										
実績額	2,000										
寄附金充当額	2,000										
重要業績 評価指標 (KPI)	①基金残高【億円】（2023 年度：119 億円）										
実績値	<table><tr><td></td><td>2024 年度</td><td>目標値（2024）</td><td>結果</td></tr><tr><td>K P I ①</td><td>120</td><td>70</td><td>達成</td></tr></table>				2024 年度	目標値（2024）	結果	K P I ①	120	70	達成
	2024 年度	目標値（2024）	結果								
K P I ①	120	70	達成								
事業効果	【事業を実施した効果と課題】 ・ 6 回の検討会やタウンミーティング、市民参加型ワークショップなどを通じて、学識経験者や市民の声を反映すると共に、マンガやイラストを取り入れるなど、市民にとって分かりやすいデザイン制作や周知を行うことで、市の財政状況や財政運営上の課題を市民と共有することができた。 【今後の取組】 ・ 「みんなの財政白書あかし」については、社会情勢や国・県の動向を踏まえ、必要に応じて内容を見直し、毎年度更新する。										

	・効率化とコスト削減に努めながら、持続可能な財政運営やまちづくりを進めていく。
外部有識者 (あかしSDGs推進審議会委員) の評価	(1) 評価 (該当する番号に○) ① 本事業は、地方創生のために有効であった。 ② 本事業は、地方創生のために有効でなかった。 (2) 意見 ・内容の検討段階から多くの市民に関わってもらったことで、「みんなでつくる」財政白書になり、「分かりやすい」財政白書になったと考える。 ・市民にとって直接目を通す機会が少なかった財政に関する資料を身近な媒体としたことによって、市政への関心と理解を高めることに役立った。 ・毎年の内容更新を通じて、市民と情報を共有しながら、財政運営上の課題については状況が改善されるよう、取組を進めていただきたい。

事業名	本のまち明石図書充実事業										
寄付金額	2024 年度：500 万円										
寄附者	非公表										
主管課	政策局プロジェクト推進室本のまち担当										
総合戦略 5つの柱	柱5 まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す										
事業目的	図書の充実や環境の整備を図り、「やさしいまち」「教養・文化の薫り高いまち」として明石の魅力を一層高めるため、あかし市民図書館を核として、いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまちづくりを進める。										
事業内容 (2024 年度)	令和7年4月に新設した二見図書館の蔵書として、絵本や児童書等を購入・設置した。また、利用者の利便性をさらに高めるため、J R 明石駅直結のピオレ明石西館に新たな図書返却ポストを設置した。										
事業費 (千円)	<table><tr><td></td><td>2024 年度</td></tr><tr><td>予定額</td><td>740,281</td></tr><tr><td>実績額</td><td>37,444</td></tr><tr><td>寄附金充当額</td><td>5,000</td></tr></table>		2024 年度	予定額	740,281	実績額	37,444	寄附金充当額	5,000		
	2024 年度										
予定額	740,281										
実績額	37,444										
寄附金充当額	5,000										
重要業績 評価指標 (KPI)	①図書館等での本の貸出冊数【冊】(2023 年度：2,747,078 冊)										
実績値	<table><tr><td></td><td>2024 年度</td><td>目標値 (2024)</td><td>結果</td></tr><tr><td>K P I ①</td><td>2,647,182</td><td>3,200,000</td><td>未達成</td></tr></table>		2024 年度	目標値 (2024)	結果	K P I ①	2,647,182	3,200,000	未達成		
	2024 年度	目標値 (2024)	結果								
K P I ①	2,647,182	3,200,000	未達成								
事業効果	【事業を実施した効果と課題】 新設した二見図書館の図書の充実や返却ポストの設置を行うことで、「いつでも」「どこでも」「だれでも」手を伸ばせば本に届く「本のまち明石」の取り組みの一環として、図書環境を整備、充実させることができた。 【今後の取組】 引き続き、だれもが本に親しみ、読書を楽しむことができるよう、市内図書館やブックスポット等本に関わる全ての場所や人々との連携強化を図り、「本のまち明石」を推進していく。										
外部有識者 (あかしSDG s 推進審議会委	(1) 評価 (該当する番号に○) ① 本事業は、地方創生のために有効であった。 ② 本事業は、地方創生のために有効でなかった。										

<p>員) の評価</p>	<p>(2) 意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書環境の充実に寄与したことは評価できる。</li> <li>・図書貸し出しの手続きの煩雑さや時間制限が読書の機会喪失の原因となっていたことも考えられるため、便利な場所への図書返却ポストの設置は、図書館利用者数を増加させ、市民の教養を高め、文化への理解に貢献する有効な対策となっている。</li> <li>・今後も市民の方々が本に親しめる場所や機会のさらなる充実を図り、「いつでも どこでも だれでも 手を伸ばせば本に届くまち」として「本とつながる」取組と、「本から人とつながり、知りたいことややりたいことに出会えるまち」を目指して「本からつながる」取組を推進していただきたい。</li> <li>・新聞や経済雑誌、学術誌などのデータベース化が進み、過去の記事を検索できるようになっている。将来的に明石市の図書館においてもD X推進に取り組むために、データベースアクセスの充実を図っていただきたい。</li> <li>・本の貸出冊数は 2021 年度より減少しており、広報等利用者を増やす努力とともにデジタル社会への対応も進めてほしい。</li> </ul>
-------------------	---